



笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,576 世帯
人口 10,685 人
男 5,372 人
女 5,313 人
(令和3.7.1 現在)

子どもと本の集い

15周年

6月23日、笹賀地区福祉ひろばで、おはなしの会「すがのつくる」が、笹賀地区「子どもと本の集い」15周年特別企画を開催しました。地域から未就学児の親子10数組と一般参加者合わせて35人ほどが来場しました。

子どもと本の集い

子どもと本の集いは、未就園児親子の居場所づくりを目的に平成18年6月から活動を開始して、今年で15周年を迎えました。毎月第4水曜日10時から絵本をヒントに子育てについて考えたり、季節の絵本の紹介、わらべうたあそびや工作など、楽しい内容の演出をしてきました。現在は感染症対策で自粛中の茶話会も含めて、すべて無料で開催してきました。



鳥のおはなし会



「鳥のおはなし会」は大人には昔懐かしい「赤い鳥小鳥」の童謡に、ニワトリと卵、ひよこ等の手作りの小道具を使い、演劇しながらに歌の世界へ子どもたちの心を誘っていました。また、絵本の「ぴよん」を紹介して、いろいろな動物が「ぴよん」と跳ぶ姿を楽しそうにお話していました。「すがのつくる」の

豊嶋さんは「観賞している時の子どもたちの集中力はすごい」と感嘆していました。
お友達の山田加織さん松生ちゃん親子に誘われて来たという増田ともみさん衣千花ちゃん親子は「ひよこや「ぴよん」がとっても楽しかったようで、親も楽しかった」と話していました。



ハロー・カンクロー

特別企画に招待した人形芝居・燕屋「くすのき燕」さんは、人形劇・腹話術「ハロー・カンクロー」を演じました。「トリのカンクロー」は生意気な僕のあいぼう。みんなとカンクローと僕との楽しいおしゃべりタイム。



ちよと不思議なことがおきるかも」と言つて鳥の人形のカンクローと二人芝居を始めました。くすのきさん(松本市在住・国際人形劇連盟日本センター会長)は日本全国で人形劇の上演をしています。
お友達の佐々木優子さん寿羽ちゃん親子と参加したという次郎丸恵さん結一ちゃん親子は、子どもと本の集いには何度か参加しているといい、「腹話術が珍しくて楽しかった」と話していました。



すがのつくる

「子どもと本の集い」主宰の豊嶋さんは「すがのつくる」の代表として幅広い活動を続けていて「豊かな子育てが出来れば良い」「子どもの文化を応援したい」と言っていました。そして、「守り伝えていくのは大人。本を通して季節の事、行事、いわれ等、子どもの本から大人も学べる。子どもの興味に沿って本を選ぶと教わることも多い」と繋げていました。(山楽子)



スポーツ大会結果

【笹賀地区ウォーキング大会】
【第49回笹賀地区
町内公民館対抗球技大会】

笹賀地区恒例行事の5月30日(日)のウォーキング大会、7月4日(日)の球技大会(フットボール、ソフトバレーボール)は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止の判断となりました。

新任保健師 インタビュー



南部保健センター
横川 友美 保健師
(笹賀地区担当)

今年4月に松本市の保健師となつた横川さんは、社会人2年目と聞きました。

最初の1年は他県で仕事をしていましたが、長野に帰って仕事をしたくて、すぐに再就活をしました。松本は保健師も多く、色々と勉強できると思いました。

どんなお仕事をしていますか？

今(6月中旬)ワクチン接種の業務が忙しいです。土日どちらかが出勤ですが、来週からは平日もワクチン業務に携わります。

会場準備からワクチン準備に関わる仕事をしています。保健センターの職員が一丸となり必死にがんばっています。

地区の担当としてはどんなお仕事をしていますか？

福祉ひろばなどで高齢者の体操やお母さんの集まりがあれば参加して、健康相談に乗

たり、住民の困り事や状態を見ています。それを改善する活動を考えたり、さらに深い事態を察知して、関係各所と情報を共有して解決に動く仕事をしています。

普通に暮らしてはいるけれど、生きづらさを感じる人たちの支援をするというのが保健師の仕事と感じています。趣味はなんですか？

散歩が好きで、自宅の周りなどを歩き、自然や生活にふれることが楽しいです。また休日は実家に帰り、土とふれあうのが癒しになっています。学生時代ピアノをやっていたので、またやりたいと思っています。



この日は福祉ひろばで親子ヨガがあり、横川さんはそのサポートをしていました。7組の親子が参加し、宮下節子先生の指導の下、赤ちゃんを

抱っこして話しかけ、ふれあ



今日参加していかがでしたか？

お母さんたちも少しずつお話をしてくれるようになり、これからも少しずつ顔を見られる関係というのが作っていければいいと思います。

まだ知識も技術もないですけど、まずは地域を知って、解決する力をつけて、笹賀地区を良くしていくことができればよいと思います。

大会新記録

6月6日に行われた中信地区小学生陸上大会において、菅野小学校男女混合リレーが大会新記録の56秒52で優勝しました。

県大会は6月19日に行われ、55秒64とさらにタイムを縮めて4位入賞。8月29日に松本で行われる東海大会へのキップを手に入れました。

(県大会の前に選手にコメントをいただきました。)

◇大月 優夢さん 中信のタイムを超えるように走りたいです。

◇橋戸 克実さん 6年で最後の大会なのでチーム一丸となり走りたいです。

◇幸山 咲さん バトンパスをスムーズにしたいです。

◇吉崎 音緒さん みんなで最後まで生懸命走りたいです。

◇阿部 ことのさん サポートをしっかりしたいです。

◇荒江 煌夢さん 自己ベストを目指したいです。

選手の方々には、さらにタイムを縮めて悔いのない走りをしてほしいです。



さんぽみち



年号が令和に変わり2年目を迎えた昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、1年以上経過した今も収束の道筋さえ立っていない。東京オリンピックを控えて世相は明るい筈であったが、先行きの見えない暗い現実には惑わされている。現実の中で身の回りに目を移せば、数年ぶりに家の軒先でツバメが巣作りを始めた。毎年、様子を伺いに来る家族はいたが、途中で卵を落とされたり、雛を襲われたりで巣立ちまで育つ姿は久しい。今年のカップルは代わる代わる卵を抱いて住み着きそうな様子であるが、ツバメ仲間の追いかけて騒ぎに胸を痛める日々が続く、鳥の世界も大変である。外敵除けに玄関の周りに網を下げ、落下防止に巣の下に柵を作り、今年こそ雛から幼鳥へ未来を繋げてほしいと人の手の及ぶところで応援しているが、対策の効果も気持ちも届いてほしいと願う。昭和の戦争に平成の災害と人は、そのたびに巡り来る困難を乗り越えてきたが、自然界もそれなりの激動に巻き込まれながら、それでも逞しく新しい息吹は芽生え続けている。(山楽子)